

授業科目 英語Ⅲ

【担当教員名】 五十嵐 紀子	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・競技・栄養・スポーツ・社会・看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

【パブリックスピーキング】

コミュニケーション理論を学ぶことによって、人前で効果的に話をするために必要なスピーチの基本的事項を学習し、スピーチ原稿の書き方、発音やイントネーションなどの音声面や、身振り・姿勢などを含めた話し方を実践を通して学ぶ。学期の最後には、スピーチの発表会を行い、授業で学んだことを実践する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. コミュニケーションの基本的概念について理解する
2. スピーチを行う目的に応じた話し方について理解する
3. スピーチを行うために必要な準備について理解する
4. 上記2,3を実践し、「説得」を目的とするスピーチをすることができる
5. 他者のスピーチを聴き、理解・分析することができる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション コミュニケーションの目的	1.2	講義、ディスカッション
2	説得のスピーチ コミュニケーションの目的としての説得とは。説得のための手段	1.2	講義、ディスカッション
3	準備の基本 トピック選定、目的設定、聴衆分析、情報収集、原稿作り、練習	1.2	講義、ディスカッション
4	模擬スピーチ① 日本語によるスピーチの準備	1.2	個別学習、個別指導
5	模擬スピーチ② 日本語によるスピーチの発表	4.5	発表、相互評価
6	スピーチの準備① 模擬スピーチのフィードバックとトピックの選定	1.2	講義、ディスカッション
7	スピーチの準備② 原稿作り	2.3	個別学習、個別指導
8	スピーチの準備③ 原稿作り	2.3	個別学習、個別指導
9	スピーチの準備④ 原稿作り	2.3	個別学習、個別指導
10	スピーチの準備⑤ 原稿作り	2.3	個別学習、個別指導
11	スピーチの準備⑥ 練習	2.3	個別学習、個別指導
12	スピーチの準備⑦ 練習	2.3	個別学習、個別指導
13	スピーチの準備⑧ 練習・リハーサル	4.5	発表、相互評価、相互評価
14	発表会 スピーチの発表会を行う	4.5	発表、相互評価

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	カーネギー 話し方入門	市野安雄 (訳)	創元社	2003年発行 1,500円 指定図書として図書館に所蔵
その他の資料	必要に応じてハンドアウトを配布する。			

【評価方法】

毎時間の取り組み、授業外での発表準備、学期末のスピーチ発表等を総合的に評価する。

【履修上の留意点】

スピーチ原稿の添削、発音指導など授業外での個別指導が必要になるため、計画性を持って課題をこなすこと。